

令和4年（2022年）3月
交通局総務課

経営形態のあり方検討 来年度の進め方について

1 今年度（令和3年度）までの進捗

- 令和3年第3回定例会
 - ・ 交通局が抱える課題を改めて整理し、あり方検討の目的、流れ及び内容を説明
 - ・ 今後の経営の方向性を示すとともに、経営分析結果（他都市比較等）を報告
- 令和3年第4回定例会
 - ・ コンサルティング業者からの委託調査結果を踏まえ、現時点での最適な経営形態（案）として「市出資法人設立による上下分離方式」を報告
 - ・ あわせて、現行と上下分離後の長期収支見込を報告

2 来年度（令和4年度）の検討内容

- 「市出資法人設立による上下分離方式」を叩き台として、庁内関係部局とも適宜調整・協議しながら、制度設計を行う
 - ・ 上下の役割・業務分担
 - ・ 人員配置（上物で雇用するプロパー職員及び下から上へ派遣する市職員の人数及び役職の精査等）
 - ・ 上物法人が下物（交通局）へ支払う使用料の精査
 - ・ 上物法人の法人格の検討（財団法人・社団法人・独立行政法人・株式会社etc.）
 - ・ 出資団体の検証（市・交通局・民間企業etc.）
- 長期収支見込についても、制度設計により試算の精度を高めたうえで、再度精査
- 制度設計により上下分離方式の現実性を最大限高めたうえで、現行の経営形態との比較検討を再度実施

3 今後の検討（制度設計）スケジュール

- 上記『検討内容』につき、令和5年度の高度化計画の策定・申請も見据えつつ、コンサルティング業者の協力を得ながら制度設計を進める
- 詳細は別紙参照

4 庁内関係局（課）との一体的な制度設計

- 各局（課）ごとに担当者を選任し、交通局の全体調整のもと、ワーキンググループを結成する。交通局で作成する検討項目ごとの原案をワーキンググループ全体でブラッシュアップし、制度設計を進める。
- 詳細は裏面参照

【ワーキンググループ構成局（案）】

政策局、総務局、財政局、都市建設局、その他

【上下分離に向けたワーキンググループでの検討の流れ（案）】

